

令和6年2月号

# ファルマコム便り



暦の上では2月4日が立春です。冬至と春分の日の間であり、この日を境に徐々に暖かくなるようですが、空気も乾燥し風邪を引きやすくなります。

まだまだ寒さも続いており、今年に入り、さらにインフルエンザの感染者が急増しています。新型コロナの感染者も急激に増える可能性もあり、同時流行への備えが大切です。

保湿・湿度に注意し健康に過ごすために免疫力を高め、感染予防に努めていきましょう。

## 風邪とインフルエンザ、新型コロナの違い

風邪もインフルエンザも、初期症状が似ているため、区別が付きにくいこともあります。新型コロナにおいては、まったく自覚症状がないケースもあります。軽い症状であっても急変して重症化することもあるので、高齢者や呼吸器疾患のある人は特に注意が必要です。

### ◆風邪について

ウイルスや細菌などの病原体によって引き起こされる鼻や喉の急性炎症の総称です。鼻や喉の粘膜から感染するため、くしゃみ、鼻みず、鼻づまり、喉の痛み、咳、たんなど、鼻や喉の症状が顕著にみられます。比較的ゆっくりと症状が出て、4～5日程度で改善することが多いです。

#### ★治療方法

一部を除いて抗ウイルス薬ではなく、痛みや不快な症状を和らげる対症療法が主な治療方法となります。

### ◆インフルエンザについて

ウイルスに感染することで発症します。一般的な特徴は、38℃以上の急激な発熱があり関節痛や筋肉痛、倦怠感や悪寒などの全身症状が現れ、鼻みず、咳などの症状が伴います。インフルエンザは急激に症状が現れ、1週間程度の経過で回復していくことが多いです。

#### ★治療方法

対症療法を中心に発症から48時間以内であれば抗インフルエンザ薬を使用して、体内でウイルスが増殖するのを抑えます。

### ◆新型コロナウイルス感染症について

引き始めは普通の風邪と同様に咳や発熱などがみられます。症状の現れ方は個人差がありますが最初は比較的緩やかで微熱から高熱、咳、関節痛や筋肉痛、頭重感や倦怠感、食欲不振や味覚・嗅覚の異常を感じるといった症状が続いたあと、急に重症化して肺炎を合併するなど、入院となるケースがあります。

軽症の場合は約1週間で回復していきませんが、一方で無症状の人が急激に重症化することもありますので注意が必要です。

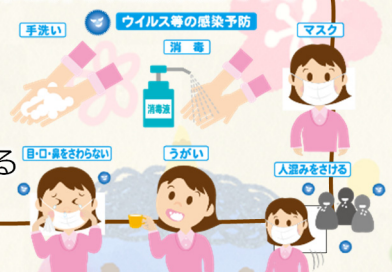
#### ★治療方法

現時点では痛みや不快な症状を和らげる対症療法が中心です。中等症・重症で入院治療となる場合は、抗ウイルス薬、血栓予防の抗凝固薬、免疫の暴走を抑えるステロイド薬を適宜使用します。

### ★基本的な感染予防は同じ

いずれも、接触または飛沫を介した感染症です。

- ・マスクの着用
- ・うがい、手洗い
- ・アルコールに手指消毒
- ・こまめな換気
- ・不要不急の外出を避ける



★ファルマコムでも“川柳を随時募集”しています！★

お便りに掲載させていただきますので担当ケアマネージャーにお問い合わせくださいませ！



## ファルマコム居宅介護支援事業所

〒890-0066 鹿児島市真砂町84番19号

電話 099-258-1314

ホームページ <http://www.pharmacom.jp/care/>

### 3月のこよみ

- 3日 ひな祭り
- 7日 消防記念日
- 11日 東日本大震災の日
- 20日 春分の日